

毎週、まじめ一方の「野菜だより」です(きっぱり)。が、今週はちょっと息抜きの紙面。いつも以上に軽く読み流してくださいませ(^_^);

がらがら ㄥㄥㄥㄥ

はじめにクイズです。右の写真、庭の片隅に植えてあった松の苗木を放置しておいたらどんどん伸びてしまっ、それを切ったものです。枝も少し残してありますが、じつは便利な道具なのです。さて何に使うかわかりますか？ 答は末尾に。

*

「もし、もし幸せがガラガラと音を立ででくずれるとするならば、逆に幸せになっていくどぎ音はラガラガだべか？」

とつぶやいていたのは津軽の伊奈かつぺいさんです。3年前だったか、日立で開かれた茨城県母親大会では、「お国言葉で憲法」のステージに登場されました。ということとは全く関係ないんだけど、その伊奈さんのネタに、こんなものもあります。

「桶の中で水洗いされているイ



モノの子がつぶやいた。「あ～海水浴のニュースみでえだなあ」

*

というところで、冒頭のクイズ。写真は、わざと上下を逆さまにして写真を撮りましたが、じつは右の写真のようにして使います。そう、答



里のギャラリー 33



は、サトイモを洗うために使う道具でした。桶の中でガラガラとかき混ぜるわけですが、食べればラガラガなおいしさです。チャンチャン。

近代医学で“余命2年”と宣告されてから1年半が過ぎた重病患者の近況を報告します。

桃栗3年柿8年、レンコン開田

“免疫療法”で元気を得た十王町の根本さん。じつは昨シーズン、近代医学を蹴飛ばすように、畑に栗の苗木をたくさん植えました。で・・・

「去年は栗を植えてると笑われたから、今度は柿を植えるんだ」と、苗木をたくさん仕入れています。

しかも、3年やら8年やらで笑ってたら甘かった。先日は、“三春の

滝桜”の子どもの苗木とやらを買ってきて庭に植えたそうです。

「2本植えたから、千年もしたら間引かないときつくなるなあ」と心配しています。という仙人のような話は放っておくとして・・・さらに根本さんは写真のように、



自宅の崖下の湿った場所に新しく田んぼを開きました。ここで来年はレンコン栽培を再開すると張り切っています。お楽しみに。